

姫路市新美化センター整備・運営事業

修正箇所一覧

令和8年3月6日

姫路市

新旧一覧表

NO	資料名	頁	項目				タイトル	修正前	修正後
1	入札説明書 添付資料	添付 -9	添付資料6	(3)	ア		算定方法	注) 3. ※2 : 計量データとは、ごみ計量機で計量した搬入量（毎月の確定値）とし、単位はt、小数点以下第2位を四捨五入する（10kg単位まで有効）。	注) 3. ※2 : 計量データとは、ごみ計量機で計量した搬入量（毎月の確定値）とし、単位はt、小数点以下第3位を四捨五入する（10kg単位まで有効）。
2	入札説明書 添付資料	添付 -24	添付資料9	(1)			電子媒体	電子媒体は、指定されたファイル形式で作成し、⑤、⑥、⑧、⑨のそれぞれをDVD-Rに保存した上で、各1部提出すること。	電子媒体は、指定されたファイル形式で作成し、⑤、⑥、⑧、⑩のそれぞれをDVD-Rに保存した上で、各1部提出すること。
3	要求水準書 （設計・建設 業務編）	55	第2章 第3節	4	(5)		炉駆動用油圧装置	記載なし	ウ 油圧ポンプを各炉2基ずつ設置する場合、油圧タンクの共通使用を可とする。
4	要求水準書 （設計・建設 業務編）	57	第2章 第3節	5	(3)	オ	② 灰ホッパー	② 飛灰等がブリッジすることのないよう、円滑に落下できる構造とする。	② 主灰等がブリッジすることのないよう、円滑に落下できる構造とする。
5	要求水準書 （設計・建設 業務編）	57	第2章 第3節	6	(1)	ア	燃料貯留槽 形式	円筒鋼板製（地下埋設式）	[円筒鋼板製]（地下埋設式）
6	要求水準書 （設計・建設 業務編）	64	第2章 第4節	7	(2)	イ	サンプリング クーラー	缶水用[]組（1基/炉） 給水用[]組（1基/炉）	缶水用[]組 給水用[]組
7	要求水準書 （設計・建設 業務編）	67	第2章 第4節	10	(5)	イ	復水タンク	イ フラッシュ蒸気は、蒸気復水器上部に導き拡散すること。	イ フラッシュ蒸気は、蒸気復水器上部に導き拡散することを基本とする。なお、排出方法が密閉式の場合は、各種安全装置を具備すること。
8	要求水準書 （設計・建設 業務編）	75	第2章 第5節	5	(5)		ダイオキシン類 及び水銀除去装 置	記載なし	カ 薬剤供給装置は交互運転とすること。 キ 「3 HCl、SOx 除去設備」の薬剤輸送管を利用して吹き込む方式でも可とする。
9	要求水準書 （設計・建設 業務編）	83	第2章 第7節	5	(3)	オ	誘引通風機 材質	接ガス部 [耐硫酸露点腐食鋼]	ケーシング [耐硫酸露点腐食鋼]
10	要求水準書 （設計・建設 業務編）	85	第2章 第7節	8	(5)	ケ	煙突	ケ 内筒継ぎ目の溶接部は、内側を全周溶接とすること。	ケ 内筒継ぎ目の溶接部は、隙間腐食がないように全周溶接とすること。
11	要求水準書 （設計・建設 業務編）	91	第2章 第8節	11	(3)	エ	③ 薬剤添加装置 主要項目	希釈水タンク	希釈水タンク（必要に応じて）
12	要求水準書 （設計・建設 業務編）	91	第2章 第8節	12	(5)	ア	飛灰処理物搬送 コンベヤ	加湿ができる構造とすること。	湿潤した状態の飛灰処理物を搬送すること。

新旧一覧表

NO	資料名	頁	項目					タイトル	修正前	修正後
			第2章	第9節	6	(1)	ア			
13	要求水準書 (設計・建設 業務編)	97	第2章	第9節	6	(1)	ア	工業用水中和装 置 型式	[NT-NB35]	[]
14	要求水準書 (設計・建設 業務編)	105	第2章	第11節	4	(1)	オ ①	高圧受電盤断路 器 断路器	一式	一式 ※②の型式に応じた提案とする。
15	要求水準書 (設計・建設 業務編)	115	第2章	第11節	11			無停電電源設備	記載なし	なお、(1)直流電源装置の主要収納機器及び(2)交流電源装置の主要項目は、直流電源装置を交流電源装置の電源と想定した場合の基本仕様である。
16	要求水準書 (設計・建設 業務編)	115	第2章	第11節	11	(1)		直流電源装置	本装置は、受配電設備、発電設備の操作・表示電源、及び交流無停電電源装置の電源として計画すること。	削除
17	要求水準書 (設計・建設 業務編)	115	第2章	第11節	11	(2)		交流電源装置	本装置は、電子計算機、計装機器などの交流無停電電源として設置する。	削除
18	要求水準書 (設計・建設 業務編)	127	第2章	第13節	6	(1)		機器搬出設備 形式	電動走行式ホイスト	[電動走行式ホイスト]
19	要求水準書 (設計・建設 業務編)	130	第2章	第13節	13	(4)		動物焼却装置 附属機器	バーナ設備、燃料貯留タンク、制御盤等一式	[バーナ設備、燃料貯留タンク、制御盤等一式]
20	要求水準書 (設計・建設 業務編)	142	第3章	第2節	5	(1)	イ ① F)b	灰出し設備室	他の部屋とは隔壁により仕切り、気密性を確保する。特にコンベヤ等の壁貫通部の周囲は確実に密閉すること。	コンベヤ等の壁貫通部の周囲は確実に密閉すること。
21	様式集 【Word編】		様式第7-4号					I 3. 運転体制	【記入要領】 ・様式第7-4号添付資料1 (運転体制図) を本様式の後にA4版縦1ページで添付すること。なお、同添付資料は、上記2ページ以内には含まないものとする。	【記入要領】 ・様式第7-4号添付資料1 (運転体制図) を本様式の後にA4版縦1ページで添付すること。1ページに収まりきれない場合は複数ページも可とする。なお、同添付資料は、上記2ページ以内には含まないものとする。
22	様式集 【Word編】	-	様式第7-10号					III 2. 景観との調和	【記入要領】 ・様式第7-10号添付資料1として「パース図」を本様式の後にA4版横で添付すること。 ・様式第7-10号添付資料2として「立面図2方向」を本様式の後にA4版横で添付すること。	【記入要領】 ・様式第7-10号添付資料1として「パース図」を本様式の後にA3版横片面で添付すること。 ・様式第7-10号添付資料2として「立面図2方向」を本様式の後にA3版横片面で添付すること。
23	様式集 【Word編】	-	様式第7-12号					IV 1. 環境学習	【記入要領】 ・様式第7-12号添付資料1として「見学ルート図」を本様式の後にA4版で添付すること。なお、同添付資料は、上記1ページには含まないものとする。	【記入要領】 ・様式第7-12号添付資料1として「見学ルート図」を本様式の後にA3版横片面で添付すること。なお、同添付資料は、上記1ページには含まないものとする。

新旧一覧表

NO	資料名	頁	項目	タイトル	修正前	修正後
24	様式集 【Excel編】	-	様式第7-7号 添付資料1	エネルギー使用に伴う二酸化炭素排出量	注3) 消費電力量は、ごみ処理に関する焼却炉棟、計量棟の分を計上し、管理棟、大研修室、動物焼却炉棟を除く。	注3) 消費電力量は、ごみ処理に関する焼却炉棟、計量棟の分を計上し、管理棟、大研修室、動物焼却炉等を除く。
25	様式集 【Excel編】		様式第7-8号 添付資料2②	運転計画 電力計画	(出) a) 所内電力量	(出) a) 消費電力量
26	様式集 【Excel編】	-	様式第7-8号 添付資料3	電力量内訳	注) ※：事業者範囲のみ（管理棟、大研修室、動物焼却炉等）を除く	注) ※：事業者範囲のみ（管理棟、大研修室、動物焼却炉等を除く）
27	様式集 【Excel編】	-	様式第8-3号	固定費A（人件費）	日勤者・運転者—小計 千円	日勤者・運転者—小計 円
28	様式集 【Excel編】	-	様式第8-7号	保守管理及び修繕計画	記載なし	表の項目に「建築設備」を追加
29	様式集 【Excel編】	-	様式第8-7号	保守管理及び修繕計画	注4) 記入欄が足りない場合は、適宜追加すること。	注4) 記入欄が足りない場合は、適宜追加すること。 また、その他必要な設備等がある場合は項目を追加すること。
30	様式集 【Excel編】	-	様式第8-11号	事業収支表（損益計算書）	■損益計算書 ②営業費用 その他経費	■損益計算書 ②営業費用 その他費
31	様式集 【入札書添付書類】	-	様式第5-2号	事業年度別内訳書、設計・建設工事費	記載なし	■設計・建設工事費に「系統連系に係る工事負担金」を追加
32	様式集 【入札書添付書類】	-	様式第5-3号	設計・建設工事費内訳書	記載なし	全体工事費に「7. 系統連系に係る工事負担金」及び「合計（6+7）」の行を追加